

宮崎県埋蔵文化財センター一年報



2012

序

本書は、宮崎県埋蔵文化財センターの概要と平成23年度に実施した諸事業についてまとめたものです。

当センターでは、国・県・西日本高速道路株式会社等の実施する各種開発事業に伴う発掘調査を行うとともに、出土文化財の整理、収蔵、公開を行いました。また、明らかになった郷土の歴史に関することがらを報告会等によって県民の皆様の郷土への理解に役立てるなど、埋蔵文化財の保護と活用に積極的に取り組んでいるところです。

発掘調査では、東九州自動車道建設に伴い、日向～都農間6遺跡を実施し、また、国関連事業に伴う2遺跡、さらに県の事業に伴う2遺跡を実施いたしました。

主な発掘調査については、随時発掘体験会や調査報告会を開催して発掘の成果を一般に公開していますが、今後とも県民の皆様に郷土の歴史にじかに触れていただく機会をできるだけ多く持ちたいと考えております。

埋蔵文化財保護行政の十分な成果が得られるよう今後ともより一層の努力をしてまいりますと存じます。

関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成24年5月

宮崎県埋蔵文化財センター

所長 北郷 泰道

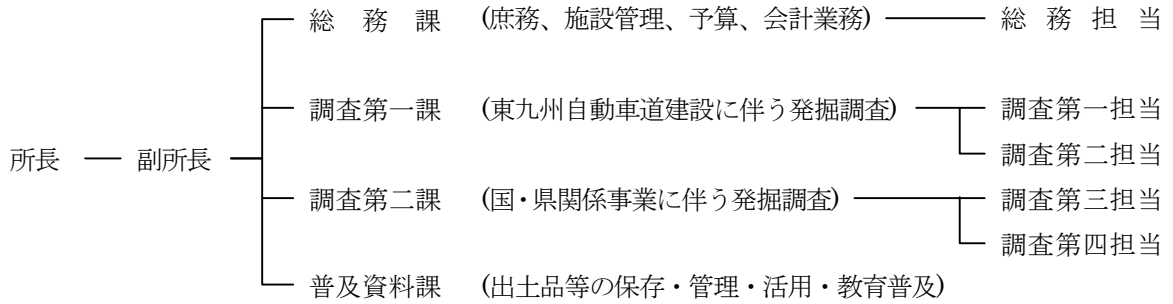
目 次

I	組織・施設	1
II	埋蔵文化財センターの沿革	3
III	平成23年度の活動状況	4
1	埋蔵文化財緊急調査	4
(1)	発掘調査	4
(2)	発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査	6
(3)	出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行	7
(4)	保存修復	8
(5)	収蔵整理	9
2	教育普及活動	9
(1)	ここまでわかったひむかの歴史～講演会と遺物公開～	9
(2)	テーマ講座・展示	10
(3)	発掘調査最前線2011～遺跡発掘速報会～	10
(4)	埋文センター施設公開	11
(5)	出前講座	11
(6)	出前展示	12
(7)	発掘体験	12
(8)	現地説明会及び発掘調査成果報告会	13
(9)	¥0で行く考古バックヤードの旅	13
(10)	見学・研修等で訪れた団体および職場体験の受け入れ	14
(11)	資料等の提供	15
(12)	職員派遣	18
(13)	埋蔵文化財担当専門職員研修会	18
(14)	広報出版物	19
(15)	ホームページ	19
3	埋蔵文化財資料活用緊急対策事業	19
4	会議・職員研修	19
(1)	各種会議等への参加	19
(2)	共同研究への参加	20
(3)	労働安全衛生関係の講習会等への参加	20
IV	宮崎県埋蔵文化財センター管理規則	21

I 組織・施設

組織

(平成 24 年 4 月 1 日現在)



所長	北郷 泰道	(高速道対策局・併)	調査第二課
副所長	佐々木真司	(")	課長 永友 良典
総務課			調査第三担当
課長	坂上 恒俊	調査第二担当	副主幹 吉本 正典
総務担当			主査 山田洋一郎
副主幹	高園 寿恵	(高速道対策局・併)	主査 泊 俊一郎
主査	甲斐 郁士		主査 和田 理啓
主査	河野 恭子	(")	主事 加藤 徹
(高速道対策局・併)			主事 宗廣 睦子
主事	山本 政美		調査第四担当
調査第一課			副主幹 松林 豊樹
課長	長津 宗重		主査 津曲 健
調査第一担当			主査 吉永登志孝
主幹	飯田 博之		主査 野崎 一人
主査	柳田 晴子		主査 木場 正浩
(高速道対策局・併)			主査 二宮 満夫
主査	橋本 英俊		普及資料課
(")			課長 近藤 協
主査	日高 広人		普及資料担当
(")			専門主幹 勢井 健一
主査	新谷 清		主査 松田 清孝
(")			(非常勤職員)
主査	竹下 昭彦		専門員 津隈久美子
(")			
主査	松浦 朋彦		
(")			
主任主事	二方 和也		
(")			
主事	中川みな子		

施設

(本館) 宮崎市佐土原町下那珂4019

① 本館 (鉄筋コンクリート造一部木造平屋建)	2,958.07 m ²
事務室	57.76 m ²
所長室	19.86 m ²
情報処理室	33.17 m ²
会議室	78.52 m ²
休憩室	78.52 m ²
調査研究室 (調査第二課)	248.55 m ²
復元整理室	293.44 m ²
一次処理室	96.81 m ²
図面整理室	61.62 m ²
写場	64.20 m ²
暗室	12.65 m ²
一次保管室 (2層)	188.00 m ²
図書室 (2層)	193.88 m ²
荷捌室	43.01 m ²
その他	276.00 m ²
小計	1,745.99 m ²
② 附属建物 (鉄骨造)	
調査研究室 (調査第一課)	301.57 m ²
③ 附属建物 (鉄骨造)	
整理作業棟	216.76 m ²
④ 附属建物 (鉄骨造)	
収蔵庫棟	693.75 m ²

(分館) 宮崎市神宮2丁目4-4

分館 (鉄筋コンクリート造2階建)	1,652.38 m ²		
1階	877.58 m ²	2階	774.80 m ²
一次処理室	121.20 m ²	写場・暗室	49.30 m ²
復元整理室	148.30 m ²	写真保管室	35.10 m ²
保存処理室	49.30 m ²	図面保管室	53.10 m ²
(鉄器)	22.70 m ²	収蔵整理室	19.30 m ²
(木器)	26.60 m ²	収蔵室	564.00 m ²
研修室	143.20 m ²	特別収蔵室	54.00 m ²
事務室	41.80 m ²		
展示室	150.00 m ²		
器材庫	11.00 m ²		
エントランスホール他	212.78 m ²		

Ⅱ 埋蔵文化財センターの沿革

西暦	年月日	事項
1980 1981 1982	昭55 56 57. 1. 9 7. 29 10. 2	「埋蔵文化財調査センター建設計画」立案 基本設計を実施 起工式 竣工 宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして宮崎市神宮2丁目4-4に設置。 センター長吉田敏明（兼博物館副館長）以下本務職員2名（岩永哲夫、谷口武範）、兼務職員8名、嘱託2名 発令。出土品等の整理保管と教育普及活動を行う。 開館記念講演「日本文化のふるさとをたずねて、東南アジアの旅から」 （講師：国立民族学博物館教授 佐々木高明）
1983	58. 4. 1	センター長細川達雄発令。本務職員を3名（茂山護、岩永哲夫、谷口武範）に増員する。
1984	59. 4. 1	（茂山護転出、菅付和樹転入）
1985	60. 11. 2	文化財保護強調週間の行事として施設公開を初めて行う。
1986	61. 4. 1 61. 7	センター長久徳菊雄発令。兼務職員7名になる。 毎月第4土曜日の映写会「遺跡をたずねて」を始める。
1987	62. 3 62. 4	埋蔵文化財調査研究報告第1集「陣内第2遺跡、蓮ヶ池横穴墓群―遺物編」刊行。 埋蔵文化財講座を始める。
1988	63. 3 63. 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第2集「下那珂貝塚」刊行 センター長長友友蔵発令。本務職員1名（菅付和樹）、兼務職員9名となる。
1989	平1. 4. 1	センター長石井祥博発令。本務職員1名（永友良典）、兼務職員11名となる。
1990	2. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第3集「下北方古墳―遺物編」刊行。 兼務職員13名となる。
1991	3. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第4集「下弓田遺跡―資料編1」刊行。 センター長木幡丈夫発令。 設備充実の一環として、軟X線撮影装置等を導入する。
1992	4. 4. 1	センター長藤崎景二発令。 埋蔵文化財センター開設10周年記念企画展「宮崎の埋文情報展'82～'91」を開催する。 脱塩装置、赤外線TVカメラシステム等を導入する。
1993	5. 4. 1 9. 15	センター長後藤健志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員15名となる。 空調設備増設
1994	6. 3. 8	特別収蔵庫増設
1995	7. 1. 29 2. 16 4. 1	一般収蔵庫増設工事完成 屋根防水工事完了 センター長関屋清志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員24名となる。 県文化課埋蔵文化財第二係（調査部門）を埋蔵文化財センターに置く。
1996	8. 4. 1	宮崎県埋蔵文化財センターとして総合博物館から分離独立し、庶務係、調査第一係、第二係、教育普及係（第二係兼務）を置く。 所長藤本健一以下職員37名、嘱託1名発令。 鶴島分室（旧婦人相談所：宮崎市鶴島2丁目11-25）を設置し、調査第一係（東九州自動車道担当）を置く。
1997	9. 3. 17 4. 1	分室を国富（旧国富農業改良普及センター：国富町大字本庄4777-2）に移転する。 職員37名、嘱託7名となる。
1998	10. 4. 1	所長田中守発令。職員39名、嘱託8名となる。
1999	11. 4. 1	職員42名、嘱託8名となる。
2000	12. 1. 20 4. 1	佐土原町に新館が完成し、国富分室を統合廃止する。神宮の日本館を分館とする。 所長矢野剛発令。課制となり、総務課、調査第一課、調査第二課、普及資料課を置く。 職員52名、非常勤職員12名となる。 分館（研修室、事務室、図面保管室、写真保管室）改築工事完成
2001	13. 4. 1 7. 1	職員59名、非常勤16名となる。 調査第一課調査研究室設置
2002	14. 4. 1	所長米良弘康発令。職員63名、非常勤職員17名となる。
2003	15. 4. 1	職員64名、非常勤15名となる。
2004	16. 4. 1	所長宮園淳一発令。職員62名（うち任期付き職員13名）、非常勤職員12名となる。 収蔵庫用に旧繭検定工場を農政企画課から所管換え。
2005	17. 3. 8 4. 1 8. 18 11. 16	収蔵第一期工事完成 職員61名（うち任期付き職員7名）、非常勤職員9名となる。 収蔵第二期工事完成 調査一課整理棟の設置。（東畦原整理作業棟撤去に伴い貸借開始）
2006	18. 4. 1	所長清野勉発令。職員64名（うち任期付き職員18名）、非常勤職員8名となる。
2007	19. 6. 1	職員64名（うち任期付き職員19名）、非常勤職員3名となる。
2008	20. 4. 1	所長福永展幸発令。職員61名（うち任期付き職員16名）、非常勤職員2名となる。 調査第一課整理棟撤去。
2009	21. 4. 1	職員59名（うち任期付き職員18名）、非常勤職員1名となる。
2010	22. 4. 1	所長森隆茂発令。職員62名（うち任期付き職員18名）、非常勤職員1名となる。
2011	23. 4. 1	職員53名（うち任期付き職員15名）、非常勤職員1名となる。
2012	24. 4. 1	所長北郷泰道発令。職員42名（うち任期付き職員7名）、非常勤職員1名となる。

Ⅲ 平成23年度の活動状況

埋蔵文化財センターは次に掲げる業務を行っている。

- 1 埋蔵文化財の調査研究
- 2 出土品その他の資料の保存及び活用
- 3 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備
- 4 埋蔵文化財関係者の専門的・技術的な研修及び指導
- 5 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発

平成23年度は以下に記述する事業を実施した。

1 埋蔵文化財緊急調査

(1) 発掘調査

東九州自動車道や国道をはじめ、国、県施設の建設に伴う試掘・確認調査や発掘調査を実施している。本年度は中畑遺跡（延岡市北方町）、岡遺跡（日向市）、長野遺跡（都農町）、広原第1遺跡（高原町）などの本調査と東九州自動車道関連の確認調査を実施した。

試掘・確認調査一覧

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
1	沢渡遺跡	日南市 松永	—	なし	なし	H24. 1. 18 (実調査日数 1日)	40 m ²	野崎一人 飯田博之 二方和也	東九州 自動車道 (北郷～ 日南間)

発掘調査一覧

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
1	馬込遺跡 第1地点 (3次)	日向市 大字平岩	—	なし	なし	H23. 11. 21 } H23. 11. 22 (実調査日数 2日)	150 m ²	野崎一人 飯田博之	東九州自 動車道(日 向～都農 間)建設
2	岡遺跡 (9次)	日向市 大字平岩	旧石器 縄文早期 中・近世	礫群1基 集石遺構7基 炉穴2基 掘立柱建物跡 2棟	剥片、石錐等 土器、磨製石 斧等 青磁碗、備前焼 等(遺物4箱)	H23. 5. 9 } H23. 11. 7 (実調査日数 104日)	2,580 m ²	久保田陽香 野崎一人 松林豊樹	東九州自 動車道(日 向～都農 間)建設
3	岡遺跡 (10次)	日向市 大字平岩	—	なし	なし	H23. 6. 22 (実調査日数 1日)	60 m ²	竹下昭彦 二方和也	東九州自 動車道(日 向～都農 間)建設
4	岡遺跡 (11次)	日向市 大字平岩	縄文 中・近世	— 土坑、ピット	土器 — (遺物1箱)	H23. 7. 6 } H23. 7. 8 (実調査日数 2日)	150 m ²	竹下昭彦 二方和也	東九州自 動車道(日 向～都農 間)建設

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
5	岡遺跡 (1 2次)	日向市 大字平岩	縄文 中・近世		土器、剥片 陶磁器 (遺物 1 箱)	H23. 8. 1 } H23. 8. 3 (実調査日数 3 日)	20 m ²	松浦朋彦 橋本英俊	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
6	岡遺跡 (1 3次)	日向市 大字平岩	縄文晩期 古墳中期 中・近世	— 竪穴建物跡 1 軒 掘立柱建物跡 2 棟	土器 (突帯文・ 黒色磨研)、石 鏃、石錘等 須恵器、土師 器 陶磁器等 (遺物 7 箱)	H23. 8. 29 } H23. 11. 28 (実調査日数 55 日)	1, 230 m ²	竹下昭彦 二方和也	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
7	岡遺跡 (1 4次)	日向市 大字平岩	—	なし	なし	H23. 9. 6 } H23. 9. 7 (実調査日数 2 日)	100 m ²	橋本英俊 松浦朋彦	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
8	岡遺跡 (1 5次)	日向市 大字平岩	縄文早期	集石遺構 1 基	土器 (押型文・ 突帯文・孔列文) 石鏃、石錘等 (遺物 10 箱)	H23. 9. 26 } H23. 12. 27 (実調査日数 50 日)	1, 000 m ²	松浦朋彦 橋本英俊	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
9	坂元第 2 遺跡 (3 次)	日向市 大字平岩	縄文早期 弥生～ 古墳	集石遺構 2 基 なし	土器、剥片 土器	H23. 4. 25 } H23. 6. 3 (実調査日数 16 日)	300 m ²	松浦朋彦 二方和也	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
10	長野遺跡	児湯郡 都農町 大字川北	旧石器 縄文早期 弥生後 期後半 時期不明	礫群 1 基 焼土集中土坑 8 基 竪穴建物跡 2 軒 陥し穴状遺構 2 基、土坑 2 基	石核、剥片、 ナイフ形石器 押型文土器、石 鏃、礫器、剥片 土器片、磨石、 砥石、台石 (遺物 12 箱)	H23. 5. 9 } H23. 11. 21 (実調査日数 112 日)	4, 500 m ²	明石宏一 小船井 順 木場正浩	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
11	舟川第 2 遺跡 (3 次)	児湯郡 都農町 大字川北	旧石器 縄文早期	礫群 14 基 集石遺構 19 基、配石遺 構 1 基	ナイフ形石器、 台形石器、石刃、 剥片尖頭器、削 器、細石刃核、 細石刃、敲石、 石核、剥片、碎片 押型文土器、石 鏃、打製石斧、 磨石、石核、剥 片、碎片 (遺物 16 箱)	H23. 9. 9 } H23. 10. 24 H24. 1. 23 } H24. 3. 9 (実調査日 57 日)	750 m ²	川俣唱子 田中達也 木場正浩	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
12	舟川中原遺跡 第1地点 (2次)	児湯郡 都農町 大字川北	—	なし	なし	H23. 5. 9 (実調査日数 1日)	215 m ²	松本 茂 川俣唱子 田中達也	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
13	広原第1 遺跡	西諸県郡 高原町 大字広原	縄文後・ 晩期	竪穴建物跡5 軒、土坑(断 面袋状のもの 含む)16基、 小穴	縄文土器、弥 生土器、石器 (遺物30箱)	H23. 5. 30 } H23. 9. 16 (実調査日数 66日)	1,400 m ²	泊 俊一郎 宗廣睦子	高等学校 農場整備 事業
14	陣ノ口 遺跡	都城市 上水流町	中世～ 近代	溝・道路状 遺構2条	土師器、陶磁 器 (遺物3箱)	H23. 11. 16 } H23. 12. 26 (実調査日数 25日)	280 m ²	宗廣睦子 泊 俊一郎 木場正浩	県道高城 山田線 (志和池工区) 道路改良 工事
15	中畑遺跡	延岡市 北方町	縄文晩 期	竪穴建物跡1 軒、集石遺構 2基、配石遺 構2基	縄文土器、石 器 (遺物28箱)	H23. 5. 25 } H23. 11. 14 (実調査日数 90日)	2,500 m ²	津曲 健 吉永登志孝	一般国道 218号 北方延岡 道路建設 事業
16	坂ノ下 遺跡	延岡市 北方町	縄文早 期	集石遺構 19基	縄文土器、石 器 (遺物2箱)	H23. 12. 26 } H24. 3. 2 (実調査日数 39日)	300 m ²	吉永登志孝 太田真理子	一般国道 218号 北方延岡 道路建設 事業

(2) 発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査

慎重な調査を要する遺跡の調査にあたって、調査方法等の指導を受けるため各分野の専門の研究者を招聘した。また、位置づけの明確でない遺物について職員を派遣し指導を受けた。

調査指導

所属・氏名	指導内容	場所	日程
熊本大学文学部 教授 杉井 健	県道宮崎島之内線改良工事に伴う山崎上ノ原第1遺跡出土遺物調査指導	埋蔵文化財センター本館	H23. 6. 16～17

資料調査

目的	出張先	日程	出張者
県道宮崎島之内線改良工事に伴う山崎上ノ原第1遺跡出土遺物(特殊扁壺・韓式系土器)資料調査	伊勢神宮徴古館・斎宮資料館・大阪府文化財センター・大阪文化財研究所	H23. 12. 6～12. 8	和田理啓

目的	出張先	日程	出張者
宮崎地家裁日南支部新営工事に伴う飫肥城下町遺跡報告書作成に係る資料調査	飫肥城歴史資料館	H23. 10. 14	二宮満夫
宮崎地家裁日南支部新営工事に伴う飫肥城下町遺跡報告書作成に係る資料調査	都城島津邸	H23. 11. 9	二宮満夫

(3) 出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行

埋蔵文化財センターでは、発掘調査で出土した遺物等の水洗、注記から実測、製図までの整理を行い、発掘調査報告書を作成している。本年度に整理を実施した遺跡は21遺跡で、内訳は東九州自動車道が西日本高速道路株式会社事業12遺跡、高規格道路が国土交通省事業2遺跡、その他国からの受託事業が2遺跡、県土木事務所事業4遺跡、県教育委員会関連事業1遺跡である。

また、整理作業の終了した18遺跡については発掘調査報告書を刊行した。

出土遺物等整理対象遺跡一覧

遺跡名	事業名	事業者
塩見城跡	東九州自動車道（門川～日向間）建設	西日本高速道路株式会社九州支社 延岡高速道路事務所
中山遺跡		
俵石第1遺跡	東九州自動車道（日向～都農間）建設	
俵石第2遺跡		
木戸平第2遺跡		
舟川第2遺跡		
長野遺跡		
向原中尾第4遺跡		
向原中尾第2遺跡		
向原中尾第1遺跡		
坂元第2遺跡		
岡遺跡		
山崎上ノ原第1遺跡	県道宮崎島之内線（産母工区）道路改良工事	県土整備部宮崎土木事務所
宮ヶ迫遺跡	県道宮崎高鍋線（那珂工区）道路改良工事	県土整備部宮崎土木事務所
坂ノ口遺跡	国道448号線（上千野～代田工区）道路改良工事	県土整備部串間土木事務所
富吉前田遺跡	国道269号線（富吉工区）道路改良工事	県土整備部都城土木事務所
広原第1遺跡	高等学校農場整備事業	県教育庁学校政策課
平峰遺跡（3次）	一般国道10号都城道路建設	国土交通省九州地方整備局 宮崎河川国道事務所
十郎ヶ尾遺跡	一般国道218号北方延岡道路建設	国土交通省九州地方整備局 延岡河川国道事務所
飫肥城下町遺跡	宮崎地家裁日南支部新営工事	福岡高等裁判所
延岡城内遺跡	延岡拘置支所新営工事	宮崎刑務所

発掘調査報告書刊行一覧

	集	報告書名	副書名	執筆・編集者
1	208	立野遺跡	地方道路交付金事業南西方工区道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	丹 俊詞/谷口 千尋/吉本 正典
2	209	富吉前田遺跡	国道 269 号富吉工区道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	二宮 満夫
3	210	塩見城跡	東九州自動車道（門川～日向間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 4	田中 敏雄/淵ノ上 隆介/児玉 幹 /今塩屋 毅行/小船井 順/田中 達也 /堀口 悟史/嶋田 史子/川俣 唱子 /原口 浩一郎/松田 博幸/柳田 晴子 /若山 浩章/土屋 雄毅
4	211	平峰遺跡（1次・2次調査）	一般国道 10 号都城道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査方向書 3	永友 良典/吉本 正典/和田 理啓 /大村 公美恵/橋本 憲二
5	212	岡遺跡（6・7次）・坂元第2遺跡	東九州自動車道（日向～都農間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 4	大嶋 昭海/中川 みな子/松浦 朋彦
6	213	向原中尾第1・2遺跡 ・向原中尾第4遺跡	東九州自動車道（日向～都農間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 5	橋本 清美/山本 光俊/南 健太郎 /石貫 弘泰/谷口 めぐみ /今塩屋 毅行
7	214	舟川第2遺跡	東九州自動車道（日向～都農間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 6	石貫 弘泰
8	215	木戸平第2遺跡	東九州自動車道（日向～都農間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 7	徳留 洋志/今塩屋 毅行
9	216	俵石第1遺跡（第2次調査） ・俵石第2遺跡	東九州自動車道（日向～都農間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 8	谷口 めぐみ/橋口 由佳 /今塩屋 毅行
10	217	延岡城内遺跡	延岡拘置支所新営工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	太田 真理子
11	218	十郎ヶ尾遺跡	一般国道 218 号北方延岡道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(8)	川越 宏之
12	219	平峰遺跡（3次調査）	一般国道 10 号都城道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 4	加藤 徹
13	220	飢肥城下町遺跡	宮崎地家裁日南支所新営工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	二宮 満夫
14	221	坂ノ口遺跡	一般国道 448 号線（上千野～代田工区）道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	宗廣睦子

(4) 保存修復

保存処理室では、出土の金属製品や木製品について保存修復を行っている。本年度は、7遺跡の資料について保存修復の工程を行った。

鉄器保存修復実施の遺跡

遺跡名	主な器種	保存修復
梅北針谷遺跡	鉄鏃・刀子など	樹脂含浸まで実施
働女木遺跡	刀子など	脱塩まで実施
富吉前田遺跡	刀子など	脱塩まで実施
山崎上ノ原第2遺跡	刀子など	脱塩まで実施
中山遺跡	鉄鏃など	樹脂含浸まで実施
竹淵C遺跡	鉄鏃・刀子など	樹脂含浸まで実施
山口遺跡	刀子など	樹脂含浸まで実施

(5) 収蔵整理

① 収蔵庫（分館）

分館収蔵庫には、登録を完了した遺物や登録作業途中・待機中の遺物を収蔵している。平成23年度末における収蔵量はコンテナ9,035箱である。

② 収蔵庫（本館）

新収蔵庫には、主に本館で整理作業の終了した遺物や登録待機遺物を収蔵している。平成23年度は、コンテナ348箱を搬入した。これまでに搬入した分と合わせると、コンテナ12,213箱の収蔵量となった。

③ 登録作業

分館において実施している従来の登録法による平成23年度の実績は9遺跡、コンテナ134箱である。累計190遺跡、コンテナ5,094箱となった。本館における23年度の登録実績は17遺跡、コンテナ753箱であり、累計65遺跡、コンテナ1,668箱となった。なお、本年度は埋蔵文化財資料活用緊急対策事業による登録作業を実施し、30遺跡、コンテナ1,925箱を登録した。よって、平成23年度の本館と分館を合わせた登録収蔵総累計は、255遺跡、コンテナ6,762箱である。

④ 図書資料

全国から送られてくる発掘調査等の報告書や購入書籍・雑誌類を図書室に集架している。平成23年度は2,420冊の受け入れがあり、合計収蔵数は66,079冊になる。バーコードを利用した図書管理システムを導入しており、パソコンを用いた図書類のデータベース登録を実施している。

2 教育普及活動

埋蔵文化財に親しむ事業として「ここまでわかったひむかの歴史～講演会と遺物公開～」を年6回実施し、8月には平成23年度の発掘調査の速報会「発掘調査最前線2011～遺跡発掘速報会～」を県立図書館で開催した。11月には、文化財保護強調週間に合わせて、毎年恒例の施設公開「ドキドキワクワク埋文センター」を本館・分館で同時開催した。更に、一般の方を対象に館内の遺物見学や復元整理作業の見学・体験を行う「¥0で行く考古バックヤードの旅」を埋蔵文化財センター分館において3回実施した。

また、埋蔵文化財に触れてもらう機会として、遺跡近隣の住民や学校の児童・生徒を対象に発掘現場において発掘体験会を企画した。併せて、学校や生涯学習団体等の要請に応じて、地域に出向いて行く出前講座や出前展示も実施している。さらに、本年度は新企画としてテーマ講座（2回）、テーマ展示（1回）を分館で開催した。

なお、分館では、常時発掘調査の成果を公開しており、遺物などの展示のほか、遺物整理や報告書作成までの作業を行う復元整理室を見学することができる。平成23年度の来館者は6,594名であった。

(1) ここまでわかったひむかの歴史～講演会と遺物公開～

年間6回（5、7、9、11、1、3月）、午後1時30分から3時まで分館研修室で講演会を実施した。また、講演会に先立ち関連する遺物を展示公開した。

講演日及び講演名等

開催日	講演名	講師	参加者
第1回 H23. 5. 21	「古墳の上につくられた城」 家田古墳群・家田城跡（延岡市）	宮崎県埋蔵文化財センター 飯田 博之	41名
第2回 H23. 7. 23	「瀬戸内地方との交易もあった“みやこんじょ弥生集落”」 働女木遺跡（都城市）	宮崎県埋蔵文化財センター 和田 理啓	36名
第3回 H23. 9. 24	「都農町の石物語」 俵石第1遺跡（都農町）	宮崎県埋蔵文化財センター 今塩屋 毅行	35名
第4回 H23. 11. 26	「土器が語る都農町の縄文時代」 内野々遺跡（都農町）	宮崎県埋蔵文化財センター 小船井 順	20名
第5回 H24. 1. 28	「東西のモノが行き交う門前町」 東光寺遺跡（高鍋町）	宮崎県埋蔵文化財センター 加藤 徹	17名
第6回 H24. 3. 17	「河岸段丘上のムラの移り変わり」 板平遺跡（日向市）	宮崎県埋蔵文化財センター 橋口 由佳	30名

(2) テーマ講座・展示

本年度から新たに企画したもので、テーマ講座として2回、テーマ展示として1回実施した。

開催日	講座名	講師	参加者
第1回 H23. 10. 15	「発掘調査の基礎知識」 －発掘調査に関心のある方々へ－	宮崎県埋蔵文化財センター 石貫 弘泰	24名
第2回 H23. 5. 21	「考古遺物観察会」 －見て、感じて、推理して－	宮崎県埋蔵文化財センター 近藤 協	7名

開催期間	展示会名	場所	観覧者
H23. 12. 17 ～ H24. 3. 4	「センター所蔵の逸品展」 旧石器時代から弥生時代の資料200点を展示	宮崎県埋蔵文化財センター分館 展示室	673名

(3) 発掘調査最前線2011 ～遺跡発掘速報会～

平成22年度に発掘調査を実施した遺跡から、地域、時代などを考慮して6遺跡を選び、県立図書館2階研修ホールにおいて遺跡発掘速報会を行った。また、図書館特別展示室にて資料展示会を開催した。

開催日	時間	場所	参加者
H23. 8. 21	13:00～16:00	県立図書館研修ホール	96名

○報告した遺跡とテーマ

	遺跡名	演題	担当者
1	飢肥城下町遺跡（日南市）	ご家老!御台所が覗かれましたぞっ!	二宮 満夫
2	宮ヶ迫遺跡（宮崎市）	古墳時代終末の居館跡?	山田 洋一郎
3	木戸平第2遺跡（都農町）	焼失した川沿いの弥生集落	徳留 洋志
4	舟川第2遺跡（都農町）	遊動する旧石器時代の人々	石貫 弘泰
5	向原中尾第4遺跡（日向市）	山間の縄文時代の陥し穴	橋本 清美
6	岡遺跡（日向市）	山と海に挟まれた縄文時代の暮らし	大嶋昭海、中川みな子



関連する遺物を会場入り口に展示



講義のようす

(4) 埋文センター施設公開

毎年 11 月第 1 週の文化財保護強調週間前後に施設公開を実施している。本年度は、「ドキドキワクワク埋文センター」と題して 11 月 6 日（日）に本館と分館の 2 会場で同時に実施した。

本年度は、宮崎県高等学校文化連盟（高文連マスコット、ハニアの借用）、高鍋農業高等学校（農産物・加工品販売実習参加）、宮崎市立那珂小学校（バードカービングクラブ作品展示）の協力をえた。

開催日	内容	参加者
H23. 11. 6	○体験コーナー ・本物の土器を持つての記念写真 ・実測 ・トレース ・土器の洗浄 ・土器の拓本 ・土器の接合 ・発掘疑似体験など ○見学・観察コーナー ・出土遺物公開 ・収蔵庫見学など	本館 105 名 分館 226 名 計 331 名



土器の水洗体験



クイズに挑戦



拓本体験

(5) 出前講座

要請のあった各地域に出向いて、埋蔵文化財センター職員が生涯学習団体や小・中学校を対象とした出前講座を実施している。同時に、出前展示やセンター業務紹介も行っている。

回	開催日	時間	依頼者	内容	参加者
1	H23. 5. 20	14:00~16:00	三州文化研究会 (一般対象)	・働女木遺跡・大島畠田遺跡など都城市内の遺跡について解説	20名
2	H23. 7. 12	9:35~11:15	小林市立紙屋中学校	・紙屋地区と野尻町内の遺跡と遺物の解説 ・拓本体験	10名
3	H23. 8. 24	13:30~15:00	日南市立図書館講座 (小学生対象)	・日南市出土の遺物を観察する ・石器使用体験、拓本体験	12名

4	H23. 8. 26	10:00～11:30	日章学園中学校 (中学生対象)	・周辺遺跡の紹介・展示遺物見学 ・花弁状住居の大きさ体験	36名
5	H23. 11. 18	9:30～11:45	木花公民館講座 (一般対象)	・学園木花台の発掘調査と車坂城	10名
6	H23. 12. 10	14:00～15:30	(財)宮崎県スポーツ施設協会 (一般対象)	・学園木花台の今昔物語 －宮崎学園都市遺跡群の発掘調査成果より－	10名
7	H24. 2. 22	10:00～11:00	都農町高齢者学級 (高齢者学級)	・遺跡からわかる都農町の歴史	34名

(6) 出前展示

発掘調査で県内各地から出土した遺物などを各地域で展示し、発掘の成果を公開している。また、合わせて埋蔵文化財センターの業務内容についての紹介を行っている。

	開催期間	時間	場所	内容	参加者
1	H23. 8. 13 } H23. 8. 28	9:00～17:00	県立図書館特別展示室	・「ひむかの歴史 2011」速報会で報告する遺跡の概要速報パネルの展示 ・これまで埋蔵文化財センターの発掘調査で出土した遺物各種の公開	502名
2	H23. 12. 8 } H23. 12. 15	期間中終日	宮崎県武道館	・「遺物の里帰り展」として宮崎学園都市遺跡群出土の遺物約50点を展示	285名
3	H24. 2. 26	13:30～16:30	都農町民図書館	・発掘調査成果報告会において東九州自動車道（都農～西都間）の建設に伴う都農町内の発掘調査により出土した遺物を展示	32名
4	H24. 3. 10	13:30～16:30	日向市大王谷コミュニティセンター	・発掘調査成果報告会において東九州自動車道（日向～都農間）の建設に伴う日向市内の発掘調査により出土した遺物を展示	52名

(7) 発掘体験

郷土の歴史への興味・関心を高め、埋蔵文化財を大切にすることを育てること、さらに埋蔵文化財センターの業務内容についての理解を深める一助とすることを目的として実施している。

開催日	開催地・内容	参加者
H23. 7. 14	広原第1遺跡（高原町） (1) センター概要・遺跡概要説明 (2) 発掘体験 ・縄文時代後期包含層の掘削作業	県立高原高等学校 3年生 生産流通科 36名 福祉科 34名
H23. 7. 15	広原第1遺跡（高原町） (1) センター概要・遺跡概要説明 (2) 発掘体験 ・縄文時代後期包含層の掘削作業	県立高原高等学校 3年生 食品化学科 38名

H23. 8. 28	長野遺跡（都農町） (1) 現地説明会 (2) 発掘体験（希望者のみ） ・ねじり鎌、移植ごてを使用して縄文時代早期包含層の掘削作業	現地説明会参加者 14名 (うち児童5名)
H23. 10. 15	中畑遺跡（延岡市） (1) センター概要・遺跡概要説明 (2) 発掘体験 ・縄文時代晩期包含層の掘削作業	延岡市教育委員会社会 教育課主催「のべおか 郷土塾」25名

(8) 現地説明会及び 発掘調査成果報告会

本年度は、遺跡の現地説明会を3現場で実施し、発掘調査成果報告会を2会場で実施した。

現地説明会

	事業名	所在地	期日	参加者	事業内容
1	広原第1遺跡現地説明会	高原町大字広原	H23. 9. 4	77名	高等学校農場整備事業
2	長野遺跡発掘調査現地説明会	都農町大字川北	H23. 8. 28	32名	東九州自動車道 (日向～都農間)
3	岡遺跡（9・13次）現地説明会	日向市大字平岩	H23. 10. 2	64名	東九州自動車道 (日向～都農間)

発掘調査成果報告会

	事業名	開催地	期日	参加者	事業内容
1	発掘調査成果報告会 in 都農町	都農町民図書館	H24. 2. 26	32名	東九州自動車道 (日向～都農間)
2	『よみがえる日向の歴史』 －発掘調査成果報告会－	日向市大王谷コ ミュニティーセン ター	H24. 3. 10	52名	東九州自動車道 (日向～都農間)

(9) ￥0で行く考古バックヤードの旅

センター分館において、一般の方々を対象に展示物の解説や見学、普段は入ることのない2階収蔵庫を案内し、復元整理作業の見学やミニ体験を行う講座を3回実施した。なお、2回目は、児童・生徒対象の体験講座とした。

開催日	内 容	参加者
H23. 6. 12	・埋蔵文化財センターの業務紹介 ・展示品、収蔵庫の案内 ・復元整理作業の体験（拓本）	21名
H23. 7. 31	・石器の使用体験 ・石庖丁の製作体験	20名
H24. 2. 12	・埋蔵文化財センターの業務紹介 ・展示品、収蔵庫の案内 ・復元整理作業の体験（拓本・トレース）	41名

(10) 見学・研修等で訪れた団体および職場体験の受け入れ

内容	場所	団体名	期日	人数
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立東大宮小学校 3年	H23. 5. 13	162名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	都農町立都農東小学校 3年	H23. 5. 13	18名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	都城市立高崎小学校	H23. 5. 20	70名
展示見学・体験	埋蔵文化財センター分館	西日本スイミングクラブ	H23. 5. 22	34名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	細見クリニック	H23. 5. 25	5名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立広瀬小学校	H23. 5. 25	125名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	細見クリニック	H23. 5. 27	16名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	西都市立銀上小学校家庭教育学級	H23. 6. 23	17名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立大宮小学校	H23. 6. 29	42名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	新富町新町児童クラブ	H23. 8. 4	25名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	財光寺学園青空児童クラブ	H23. 8. 5	32名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	新富町八幡児童クラブ	H23. 8. 8	35名
資料見学	埋蔵文化財センター分館	新富町一真児童クラブ	H23. 8. 18	28名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	ニチイケアセンター	H23. 10. 6	11名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	日南市立大窪小学校	H23. 10. 14	25名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立高岡小学校	H23. 10. 21	46名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	西都市立都於郡小学校	H23. 10. 21	28名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	都城市立山之口小学校	H23. 10. 21	50名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	国富町立本庄小学校	H23. 10. 27	75名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立江平小学校	H23. 10. 28	158名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	綾町立綾小学校	H23. 10. 28	75名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立生目台東小学校	H23. 11. 2	67名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立田野小学校	H23. 11. 2	102名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	えびの市立加久藤小学校	H23. 11. 2	51名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立瓜生野小学校	H23. 11. 2	43名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	川南町高齢者学級	H23. 11. 7	34名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立大淀小学校	H23. 11. 7	137名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	川南町高齢者学級	H23. 11. 8	33名

内容	場所	団体名	期日	人数
展示見学	埋蔵文化財センター分館	川南町高齢者学級	H23. 11. 9	39名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	川南町高齢者学級	H23. 11. 10	43名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	国富町立木脇小学校	H23. 11. 10	63名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	川南町高齢者学級	H23. 11. 11	33名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立江南小学校	H23. 11. 11	112名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立生目小学校	H23. 11. 11	67名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	小林市立野尻小学校	H23. 11. 11	33名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	川南町高齢者学級	H23. 11. 15	37名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立赤江小学校	H23. 11. 16	143名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立宮崎東小学校	H23. 11. 18	57名
展示見学	埋蔵文化財センター分館	伊藤塾日田考古学同好会	H23. 12. 4	29名
公立小中学校・県立学校初任者研修	長野遺跡	県教育研修センター	H23. 8. 9	23名
教職経験10年経過研修	岡（15次）遺跡	県教育研修センター	H23. 11. 17	29名
職場体験学習	埋蔵文化財センター本館	宮崎市広瀬中学校	H23. 11. 30 ~ 12. 2	4名

(11) 資料等の提供

埋蔵文化財センターでは、一般や公共機関、研究機関、研究者の利用希望に応じて、可能な限り資料を提供している。資料提供には資料調査等に係る館内利用（資料の閲覧・実測等）や館外貸出及び掲載許可申請があり、本年度は館内利用が21件、館外貸出が19件、掲載許可が4件であった。

館内利用

利用資料名	目的	利用日
大萩地下式横穴墓（38号）、原村上地下式横穴墓（61-1.2号）、馬頭地下式横穴墓、久見迫地下式横穴墓（6号）、小木原地下式横穴墓（A号）、菓子野地下式横穴墓（57-1～5号）、市ノ瀬地下式横穴墓（5～10号）、須木上ノ原地下式横穴墓〔各遺跡の図面〕	資料調査	H23. 4. 16
尾立第2遺跡〔鉄器〕	資料調査	H23. 4. 22
天神河内第1遺跡〔縄文土器、轟B式〕	資料調査	H23. 4. 23
宮ノ東遺跡、寺崎遺跡〔転用硯〕	資料調査	H23. 5. 20
勘大寺遺跡2次、牧内第1遺跡1～3次、中ノ迫第2遺跡〔角錐状石器〕	資料調査	H23. 6. 11
牧内第1遺跡4次、上ノ迫遺跡、尾小原遺跡〔角錐状石器〕	資料調査	H23. 6. 18
東畦原第2遺跡、西畦原第2（1次）、（2、3次）遺跡、唐木戸第4遺跡〔角錐状石器〕	資料調査	H23. 7. 3

利用資料名	目的	利用日
野首第2遺跡、尾立第2遺跡、前ノ田村上第2遺跡、俵石第1遺跡 [旧石器]	資料調査	H23. 7. 22～23
寺崎遺跡 [土器・古瓦]、日向国分寺跡 [古瓦]	資料調査	H23. 7. 26
大萩地下式横穴墓・築池地下式横穴墓関係記録 [アルバム]	資料調査	H23. 8. 1
春日地区遺跡第2地点、野首第2遺跡 [旧石器]	資料調査	H23. 8. 29
上新開遺跡、唐木戸第3遺跡 [旧石器]	資料調査	H23. 9. 15
山崎下ノ原第1遺跡、祇園原地区遺跡、下耳切第3遺跡 [馬歯]	資料調査	H23. 10. 3
霧島遺跡、木脇遺跡、下星野遺跡、白ヶ野遺跡、下屋敷、上ノ原遺跡、阿蘇原上遺跡、尾立第2遺跡、音明寺遺跡、永牟田第2遺跡、朝草原遺跡、小並第1遺跡、市納上遺跡、黒仁田遺跡、赤木8地点(1次)遺跡、俵石遺跡 [旧石器]	資料調査	H23. 11. 18
前原北遺跡、市位遺跡、中野内遺跡、働女木遺跡 [弥生土器]	資料調査	H23. 11. 21
寺崎遺跡 [須恵器・土師器]	資料調査	H23. 12. 3
宮ノ東遺跡、野首第1遺跡、野首第2遺跡 [石器]	資料調査	H24. 1. 13
野首第1遺跡 [鉄鏃・轡]	資料調査	H24. 1. 17
平畑遺跡、布平遺跡、古城遺跡、五ヶ村遺跡、吉牟田遺跡 [石器・土製品]	資料調査	H24. 1. 22
山内石塔群 [板碑]	資料調査	H24. 1. 30
立切地下式横穴墓・下耳切第3遺跡他 [報告書]	資料調査	H24. 1. 30

館外貸出

貸出資料名	数量	目的	期間	貸出機関名
中尾遺跡 [石器]	9点	「企画展」での展示	H23. 5. 17 } H23. 9. 9	都城歴史資料館
別府原遺跡、天神河内第1遺跡、田代ヶ八重遺跡、上牧第2遺跡、祇園原地区遺跡、野首第1遺跡、右葛ヶ迫遺跡、野首第2遺跡、湯牟田遺跡、尾花A遺跡、大島畠田遺跡、宮ノ東遺跡、山崎上ノ原第2遺跡 [石錘]	127点	「企画展」での展示	H23. 6. 30 } H23. 9. 28	県立西都原考古博物館
学習キット [旧石器時代]	一式	1年生の社会科授業に使用	H23. 6. 26 } H23. 7. 3	宮崎市立大塚中学校
学習キット [縄文時代・弥生時代]	一式	1年生の社会科授業に使用	H23. 7. 10 } H23. 7. 16	宮崎市立大塚中学校
東平下1号円形周溝墓 [土器]	1点	企画展「宮崎における弥生時代後期の墓制」での展示	H23. 6. 30 } H23. 8. 10	宮崎市生目の杜遊古館
板平遺跡 [土器・玉・車輪石]	8点	1年生の社会科授業に使用	H23. 7. 16 } H23. 7. 23	宮崎市立大塚中学校

貸出資料名	数量	目的	期間	貸出機関名
学習キット 〔旧石器時代・縄文時代・弥生時代・古墳時代〕	一式	6年生の社会科授業（オープン スクール）に使用	H23. 8. 21 ） H23. 8. 22	宮崎市立 西中学校
王子原遺跡 〔縄文土器写真データ〕	3点	「企画展」でのパネル展示・ リーフレットに使用	H23. 9. 3 ） H23. 11. 13	新潟県津南町 教育委員会
赤木遺跡第8地点、長菌原遺跡、上ノ原遺跡 〔旧石器〕	36点	専門研修「石器・石製品課程」 の講義に使用	H23. 9. 5 ） H23. 9. 22	奈良文化財 研究所
大岩田上村遺跡 〔細石刃〕・〔写真データ〕	5点	遺跡マップ制作	H23. 9. 9 ） H23. 9. 16	都城市教育 委員会
高野原遺跡第5地点 〔旧石器〕	55点	企画展に使用	H23. 9. 20 ） H23. 11. 9	宮崎市教育 委員会
春日地区遺跡第2地点、野首第2遺跡 〔旧石器〕	12点	文化交流展に使用	H23. 9. 27 ） H24. 1. 25	九州国立博物 館
寺崎遺跡 〔墨書土器など〕 宮ノ東遺跡 〔須恵器など〕	45点	企画展「日向国府発掘調査速報 展Ⅰ」開催	H23. 12. 2 ） H23. 12. 22	西都市歴史 民俗資料館
野首第2遺跡、小並第1遺跡 〔縄文土器〕	2点	テーマ展「縄文の美」開催	H23. 12. 7 ） H24. 1. 16	県立西都原 考古博物館
学習キット一式 〔旧石器時代・縄文時代・弥生時代・古墳時代〕	一式	6年生の社会科授業に使用	H23. 12. 13 ） H23. 12. 19	西都市立 都於郡小学校
塩見城跡 〔陶磁器など〕	32点	企画展Ⅱ「城跡が語る日向」開 催	H24. 1. 6 ） H24. 3. 27	県立西都原考 古博物館

貸出資料名	数量	目的	期間	貸出機関名
尾立第2遺跡、俵石第1遺跡、中ノ迫第3遺跡、霧島遺跡、北牛牧第5遺跡、野首第2遺跡、音明寺第2遺跡、東畦原第2遺跡、春日地区第2地点、長藪原遺跡、上ノ原遺跡、内城跡、下屋敷遺跡、高野原第5地点、塚原遺跡、木脇遺跡、堂地西遺跡、下星野遺跡 [旧石器]	1181点	特別展「来て、見て、わかる！ 県央調査展」	H24. 1. 10 ～ H24. 3. 12	宮崎県総合博物館
学習キット一式 [弥生時代]	一式	6年生の総合的学習に使用	H24. 1. 13 ～ H24. 1. 22	宮崎市立那珂小学校
右葛ヶ迫遺跡 [縄文土器]	17点	企画展「青島中学校区の遺跡」	H24. 1. 27 ～ H24. 6. 15	宮崎市教育委員会

刊行物等掲載（写真等資料提供）

資料名	掲載刊行物等	依頼者	申請日
カラ石の元遺跡 [写真] (骨貝類)	新聞記事に使用	宮崎日日新聞社	H23. 5. 30
向原中尾第4遺跡 [写真] (柳又型有舌尖頭器)	新聞記事に使用	夕刊デイリー新聞社	H23. 8. 22
大島島田遺跡 [写真] (墨書土器、遺構)	「都城の歴史と人物」 増補改訂版	都城市教育委員会	H23. 9. 8
春日地区遺跡第2地点・野首第2遺跡 [写真] (ナイフ形石器)	トピック展図録	九州国立博物館	H23. 9. 14

(12) 職員派遣

市町村の教育委員会に埋蔵文化財の専門的・技術的な指導を行い、諸機関・団体主催講演会等の普及啓発行事にも職員を派遣している。

内容	派遣期日	依頼者	派遣職員
岩土北平遺跡（第3次）発掘調査に伴う調査指導	H23. 6. 21	延岡市教育委員会	松本 茂
日向国府跡整備に伴う確認調査の調査指導	H24. 2. 16	西都市教育委員会	北郷泰道・長津宗重 永友良典・吉本正典 今塩屋毅行

(13) 埋蔵文化財担当専門職員研修会

埋蔵文化財センターでは、発掘調査技術等の向上をめざし、県及び市町村埋蔵文化財担当専門職員を対象とした研修を実施している。

内容	場所	期日	参加者数
「日向における奈良・平安時代土器～古代土器持ち寄り会」	埋蔵文化財センター本館	H23. 10. 21	59名

(14) 広報出版物

埋蔵文化財保護啓発活動の一環として、埋蔵文化財センターの「事業案内」及び「埋文通信」の発行や「ここまでわかったひむかの歴史」、「ひむかの歴史2011」、施設公開等についてもポスターやパンフレット、資料等の作成・刊行を行っている。

	広報出版物	発行年月
1	平成24年度宮崎県埋蔵文化財センター「事業案内」	H24. 3
2	宮崎県埋蔵文化財センター通信 「ひむか」14号	H24. 3

(15) ホームページ

各種講座や速報会、発掘体験などの事業の案内、および発掘情報を提供した。今年度はリニューアル作業に取り組み、平成24年度当初には新体裁で掲載を行う。

3 埋蔵文化財資料活用緊急対策事業

平成23年度の単年度事業として「埋蔵文化財資料活用緊急対策事業」を実施した。宮崎県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業により行ったもので、当センター収蔵資料の中で未登録であった遺物・記録類の登録作業と、再整理の必要な遺物についての所要の整理作業を実施し、活用の基盤を整備することとした。

登録作業は主に東九州自動車道関係遺跡の出土遺物を対象として、遺物に当センターの新登録システムによる登録番号を注記するとともに、図面への番号記入を行った。作業は本館で実施し、コンテナ1,925箱分の登録作業が完了した。

また再整理作業は、当センターに収蔵されている南九州短期大学旧蔵資料について、分館で水洗、注記、接合とカード化の作業を実施した。資料はコンテナ335箱に及ぶ。これらの中には日之影町出羽洞穴や小林市本田遺跡など広く知られた遺跡の資料が含まれており、今後の活用に向けたさらなる基盤整備を進めなければならない。

4 会議・職員研修

(1) 各種会議等への参加

独立行政法人奈良文化財研究所で実施している発掘技術者研修や全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会主催の各種会議等に職員を派遣し、職員の資質向上と業務の円滑な推進を図っている。

内容	日程	開催地	出席者
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	H23. 5. 26～5. 27	長野県長野市	北郷 泰道
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 中国・四国・九州ブロック会議	H23. 9. 1～9. 2	大分県大分市	吉本 正典
第36回全国遺跡環境整備会議	H23. 11. 10～11. 11	大阪府高槻市	今塩屋 毅行

内 容	日 程	開催地	出席者
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 第24回研修会	H23. 11. 17～11. 18	岡山県倉敷市	松本 茂 谷口 めぐみ
埋蔵文化財担当者専門研修「保存科学Ⅲ（応急措置）」	H24. 2. 6～2. 10	奈良文化財研究所	柳田 晴子
第2回埋蔵文化財担当職員講習会	H24. 2. 8～2. 10	奈良県奈良市、桜井市	加藤 徹

(2) 共同研究への参加

他研究者等が主催する共同研究に職員が参加する。

内 容	日 程	参加者
平成23年度科学研究費補助金（基盤研究（C）） 「古代地域社会の識字と文字文化の展開に関する研究」 代表者 宮崎産業経営大学 法学部教授 柴田博子	H23. 6. 21	今塩屋 毅行 川俣 唱子
	H23. 9. 14	今塩屋 毅行
	H23. 2. 17～2. 18	今塩屋 毅行

(3) 労働安全衛生関係の講習会等への参加

発掘調査現場及びセンター内での安全衛生の増進を図るため、各講習会へ参加している。

内 容	日 程	参加者
地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習	H23. 6. 1～6. 3	柳田 晴子
安全衛生推進者養成講習	H23. 4. 20～4. 21	明石 宏一 竹下 昭彦 泊 俊一郎 津曲 健 川俣 唱子 久保田 陽香 太田 真理子 宗廣 睦子 松浦 朋彦
救急救命講座（心肺蘇生法・AED操作法・応急手当）	H23. 6. 29 H23. 7. 1	総務課・調査第一課・調査第二課・ 普及資料課 各職員
第二種衛生管理者受験準備講習	H23. 7. 7～7. 8	坂上 恒俊 松本 茂
第二種衛生管理者免許試験	H23. 8. 20	坂上 恒俊 松本 茂

VI 宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

平成 8 年 3 月 29 日
教育委員会規則第 5 号

改正

平成 12 年 1 月 20 日教育委員会規則第 1 号
平成 12 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号
平成 12 年 12 月 18 日教育委員会規則第 21 号
平成 18 年 3 月 30 日教育委員会規則第 9 号
平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 3 号
平成 20 年 3 月 31 日教育委員会規則第 6 号
宮崎県埋蔵文化財センター管理規則をここに公布する。
宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、別に定めるもののほか、宮崎県埋蔵文化財センター及び宮崎県埋蔵文化財センター分館（以下「埋蔵文化財センター」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事業)

第 2 条 埋蔵文化財センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 埋蔵文化財の調査研究に関する事。
- (2) 出土品その他の資料の保存及び活用に関する事。
- (3) 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関する事。
- (4) 埋蔵文化財関係者の専門的、技術的な研修及び指導に関する事。
- (5) 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発に関する事。
- (6) その他埋蔵文化財保護に必要な事業に関する事。

(組織)

第 3 条 埋蔵文化財センターに、次の課を置く。

総務課
調査第一課
調査第二課
普及資料課

(分掌事務)

第 4 条 前条に規定する各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課

- (1) 職員の人事、給与及び服務に関する事。
- (2) 予算の執行及び決算に関する事。
- (3) 文書の收受、発送及び保存に関する事。
- (4) 公印の管守に関する事。
- (5) 施設及び設備の管理に関する事。
- (6) その他他の課の所管に属さない事項に関する事。

調査第一課

- (1) 東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する事。
- (2) 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関する事。
- (3) 第 1 号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関する事。

調査第二課

- (1) 国、県関係事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する事。
- (2) 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関する事。
- (3) 第 1 号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関する事。

普及資料課

- (1) 出土品の保存処理、修復、保存管理及び活用に関する事。
- (2) 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関する事。
- (3) 出土品その他の資料及び埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料（以下「資料等」という。）の貸出しに関する事。
- (4) 埋蔵文化財関係者に対する専門的、技術的な研修及び指導に関する事。

(職及び職務)

第5条 埋蔵文化財センターに、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
所 長	所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副 所 長 (2人)	所長を補佐し、所長に事故があるとき、又は所長が欠けたときは、その職務を代行する。
課 長	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
専門主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主 事	上司の命を受けて、事務に従事する。

2 前項に規定する副所長の職務の担当区分は、1人を統括とし、他を業務担当とする。

3 第1項の規定により副所長が所長の職務を代行する順序は、次のとおりとする。

第1順位 統括の副所長

第2順位 業務担当の副所長

4 第1項に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
副 参 事	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主 幹	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
専門主幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
副 主 幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主 査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

(その他の職)

第6条 前条に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに必要に応じ、技術員を置く。

2 技術員は、上司の命を受けて、技能又は労務に従事する。

(開館時間等)

第7条 埋蔵文化財センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

2 埋蔵文化財センターの入館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

(休館日)

第8条 埋蔵文化財センターの休館日は、次のとおりとする。

区 分	休 館 日
宮崎県埋蔵文化財センター	1 土曜日及び日曜日
	2 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)
	3 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで(休日を除く。)
	4 特別整理期間(あらかじめ所長が定めて公示する期間をいう。以下同じ。)
宮崎県埋蔵文化財センター 分館	1 月曜日(休日に当たるときを除く。)
	2 休日の翌日(土曜日、日曜日又は休日に当たるときを除く。)
	3 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで
	4 特別整理期間

2 所長は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に同項に定める休館し、又は同項に定める休館日以外の日に休館することができる。

(入館の制限等)

第9条 所長は、埋蔵文化財センターを利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(2) 施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(3) 所長が指定する場所以外において喫煙又は飲食をしたとき。

(4) 条例若しくは規則又は所長の指示に従わないとき。

(5) 前各号に掲げる場合のほか、埋蔵文化財センターの管理運営上支障があると認められるとき。

(資料等の館内利用)

第 10 条 館内において資料等を利用しようとする者は、資料等館内利用承認申請書(別記様式第 1 号)を所長に提出して、所長の承認を受けなければならない。

(資料等の館外貸出し)

第 11 条 次に掲げるものは、資料等の館外貸出しを受けることができる。

(1) 国立の博物館、博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)第 2 条第 1 項に規定する博物館及び同法第 29 条の規定により文部科学大臣又は宮崎県教育委員会が博物館に相当する施設として指定したもの

(2) 社会教育法(昭和 24 年法律第 207 号)第 21 条に規定する公民館

(3) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 1 条に規定する学校

(4) 国又は地方公共団体の設置する教育又は文化に関する調査研究機関

(5) 市町村立の歴史民俗資料館等で宮崎県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)が定めるもの

(6) その他教育長が適当と認めるもの

2 資料等の館外貸出しの期間は、30 日以内とする。ただし、所長が特に必要があると認めるときは、これを延長し、又は貸出しの期間中であっても、当該資料等の返還を求めることができる。

3 資料等の館外貸出しを受けようとする者は、資料等館外貸出承認申請書(別記様式第 2 号)を所長に提出し、所長の承認を受けなければならない。

4 所長は、出土品その他の資料について前項の承認をしようとするときは、次の事項を確認しなければならない。

(1) 貸出しを受ける目的が当該出土品その他の資料の保存及び活用にとって適切であること。

(2) 当該出土品その他の資料の保管、展示等を適切に行うための施設及び設備が整備されていること。

(3) 貸出しの期間中当該出土品その他の資料が適切な知識、技能を持つ者に取り扱われること。

(弁償)

第 12 条 入館者、館内利用者又は資料等の館外貸出しを受けた者は、資料等、設備又は備品を亡失し、破損し、又は汚損したときは、所長の指示に従い、その修理又は損害の賠償をしなければならない。

(委任)

第 13 条 この規則に定めるもののほか、埋蔵文化財センターの管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

(宮崎県総合博物館管理運営規則の一部改正)

2 宮崎県総合博物館管理運営規則(昭和 46 年宮崎県教育委員会規則第 4 号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則(平成 12 年 1 月 20 日教育委員会規則第 1 号)

この規則は、平成 12 年 1 月 20 日から施行する。

附 則(平成 12 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号)

この規則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 12 年 12 月 18 日教育委員会規則第 21 号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成 13 年 1 月 6 日から施行する。

附 則(平成 18 年 3 月 30 日教育委員会規則第 9 号)

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 3 号)

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 20 年 3 月 31 日教育委員会規則第 6 号)

この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

別記

様式第 1 号

(第 10 条関係)

様式第 2 号

(第 11 条関係)

資料等館内利用承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

〔法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名〕

資料等の館内利用をしたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第10条の規定により、次のとおり申請します。

館内利用の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考

資料等館外貸出承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

〔法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名〕

資料等の館外貸出を受けたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第11条第3項の規定により、次のとおり申請します。

館外貸出の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
館外貸出期間	年 月 日から 年 月 日まで		

案内図

宮崎県埋蔵文化財センター

所在地 〒880-0212

宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 4019

TEL 0985-36-1171 (代表)

0985-36-1172 (調査研究室)

FAX 0985-72-0660

ホームページ <http://www.miyazaki-archive.jp/maibun/index.html>

E-mail maizobunkazai-c@pref.miyazaki.lg.jp

アクセス

公共機関：JR 佐土原駅から車で 10 分

宮崎市街地から高鍋町方面宮崎交通バス

御殿下バス停 から徒歩で 8 分



宮崎県埋蔵文化財センター分館

所在地 〒880-0053

宮崎県宮崎市神宮 2 丁目 4-4

TEL 0985-21-1600 (普及資料課)

FAX 0985-26-2634

観覧時間 午前 9 時～午後 5 時

(入館は午後 4 時 30 分まで)

休館日 年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)

入館料 無料

E-mail maibun-fukyu@pref.miyazaki.lg.jp

アクセス

公共機関：JR 宮崎神宮駅から徒歩で 10 分

綾・国富・平和が丘行き宮崎交通バス

博物館前バス停から徒歩で 2 分





交差する歴史と神話
みやざき発掘100年

宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂 4019 番地
TEL 0985-36-1171・1172 FAX 0985-72-0660
E-mail maizobunkazai-c@pref.miyazaki.lg.jp